

最後の東かがわ市役所で、三役が挨拶！！

岩部乃之原水協筆頭代表は、ノーベル平和賞受賞後初めてで、しかも 80 年という節目の年、行進もあと 2 日のみになったが、四国大会そして広島・長崎の世界大会にペナントを持っていくと決意。東本政行東かがわ市議は丹生駅から引田駅まで 16000 歩を頑張りたいと、80 年の節目の年の盛り上げを決意しました。

東かがわ市役所では、副市長さんなど三役が待っていてくれました。東本市議が、足は丈夫なので、全市民を代表して全域を歩くと決意表明。久保輝起副市長は 2025 年平和行進に祝意を述べた後、80 年の節目の年しかもノーベル平和賞受賞はありがたいメッセージだとし、東かがわ市でも 8 月にはパネル展を予定している。平和行進が一人でも多くの国民に伝わるよう頑張るとと激励、最後に体に気を付けてと労って挨拶としました。渡邊堅次議長は去年の挨拶時に原爆を作った人が後で後悔したことを述べたが、大変なことでは済まないと呼破。核の危機の中の平和行進の行動に敬意を表し、日常の積み重ねが大事と核に頼らなくてもいいように、東かがわ市も頑張りたいと挨拶。松浦隆夫教育長は今ニュースで目を背けたくなるのがガザ、子どもの様子を見ると胸が痛くなると、戦争は誰も止められないからその前にさせないように頑張ろうと挨拶しました。



上左：丹生駅での出発集会で

「青い空は」を合唱

上右：引田駅で青い空を歌う

左：東かがわ市三役も「青い空は」

を歌ってくれました